

920および920Rシリーズ一体型オイルセパレータは、工場出荷時インストール済みのTempriteスタンダードフィルターがついています。ついてきた2個目のフィルターは、24-48時間以内の交換用として使ってください。覚えておいてください: Tempriteスタンダードフィルターは、0.3ミクロンまでの汚れや微粒子を捕らえます。典型的なフィルターは50ミクロン以上の大きさのみを捕らえます。EPAガイドラインおよび業界の慣習に従ってください。

1. セパレータを暖かくて風通しのないエリアに置くか、または断熱材でセパレータを包んでください。屋外での設置には電気ヒーターが必要になることもあります。
2. 「R」モデルのセパレータと共に機械制御によるオイルレベルコントロールを使う場合は、多重コンプレッサに減圧バルブを取り付けてください(Temprite A-7バルブ)。分裂吸引グループシステムには、2個以上のA-7バルブが必要です。
3. セパレータを、コンプレッサとコンデンサの間でコンプレッサに近く、しかも迂回パイピング(高温ガス解凍や熱再利用等)の上流(手前)に垂直に設置します。
4. 設置場所に関しては、将来のフィルター交換や修理を妨げないような場所を選んでください。
5. 振動の可能性を最小限にするために、セパレータとパイピングを締めてサポートします。
6. 油分離器の接続部は、排出管のサイズと同じ(またはそれ以上)サイズでなければなりません。
7. セパレータ全体の圧力降下を測定する、またはTemprite圧力差インジケータ(PDI)を取り付けるために、圧力タップを設置します。
8. システムの設置または操作開始の前に、推奨量のオイルを抜け口接続部に通してチャージします。ラベルを参照するか、またはRモデルの場合はトップサイトグラスまで入れてください。
9. ろう付けの最中、セパレータは冷たくしておいてください。
10. オイルセパレータがコンデンサより低い位置にある場合は、セパレータの後でチェックバルブを取り付ける、または逆トラップを取り付ける等の配慮をし、液体冷媒がセパレータに入らないように注意してください。
11. ポンプダウンシステムのオイルリターン管にソレノイドを設置します。
12. 改造システムでは、スタンダードフィルターの代わりにクリーンアップ® フィルターから始めた方が良いでしょう。
13. 設置したばかりまたは改造したものに関しては、オイルレベルや圧力降下を頻繁にチェックしてください。
14. 最初の24時間から48時間が経過した時点で、またはセパレータ全体の圧力降下が13 PSID/0.9 barより大きくなった場合はフィルターを交換してください。
15. 汚れ目詰まりが原因でセパレータ全体の圧力差が13 PSID/0.9 barになったら、フィルターを交換してください。
16. コンプレッサがバーンアウトしたら、Tempriteクリーンアップ®フィルターを使ってください。圧力降下をモニターしてください。セパレータ全体の圧力降下が13 PSID/0.9 bar以下で留まるようになったら、Tempriteスタンダードフィルターを取り付けてください。
17. 「R」モデルでは、オイルレベルを2個のサイトグラスの間で維持してください。

ご質問ですか? 1.800.552.9300 または 630.293.5910 までお電話いただくか、www.temprite.com までEメールでご連絡ください。